

AGUD・P Library Letter

2025年 2月利用状況

令和7年3月3日

(1)開館日数及び入館者数

昼間・9:00～17:30(末盛18:00)、夜間・17:30(末盛18:00)～20:00

	開 館 日 数		入 館 者 数		
	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間	合 計
楠 元	26	18	4,252	587	4,839
末 盛	20	18	718	11	729
合 計			4,970	598	5,568

学外利用者(登録なし) :	楠 元	2
	末 盛	1

(2)帯出人数

	教 職 員	学 生	その他登録者	合 計
人 数	53	55	3	111

帯出人数「学生」のうち : 人

歯学部学生	薬学部学生	短大生
18	10	0

(3) 帯出冊数

	教 職 員	学 生	その他登録者	合 計
冊 数	113	96	8	217

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件 数		件 数
学外受付	8 (1)	学外貸出	0 (0)
学外依頼	10 (0)	学外借受	0 (0)
合 計	18 (1)	合 計	0 (0)

※()内数字は大学図書館以外

(4)-3CAN図書貸借依頼件数 (4)-4学内図書貸借依頼件数

	件 数		件 数
学外貸出	0	学内貸出	2
学外借受	0	学内借受	7
合 計	0	合 計	9

寒さの厳しかった2月、国家試験等に臨まれたみなさま、本当にお疲れさまでした。ここ数日はあたたかい日が続き、楠元キャンパスでは梅の花がほころびはじめました。三寒四温の季節、春が着実に近づき、年度末から新年度への変化に備える時期になりました。

最近、詩人の長田弘さんの言葉が心にぐんぐんと沁みています。この春、人生の節目を迎えられる方に、その中から次の言葉をご紹介しますと思います。「記憶は、過去のものではない。それは、すでに過ぎ去ったもののことではなく、むしろ過ぎ去らなかったもののことだ。とどまるのが記憶であり、じぶんのうちに確かにとどまって、じぶんの現在の土壌となってきたものは、記憶だ。(中略)じぶんの記憶をよく耕すこと。その記憶の庭にそだってゆくものが、人生とよばれるものなのだと思う。」

※詩集『記憶のつくり方』(長田弘著/朝日文庫/2012年/名公に所蔵あり)あとがきより